

発行/NPO法人

市民活動サポートセンターいなぎ

事務局/〒216-0102

稲城市東長沼2-112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話042-378-2112

FAX042-378-6971

E-mail:info@inagi-support.org

http://www.inagi-support.org/

市民活動サポートセンター
2011年度の年間事業計画

サポートセンターでは今年度も下記のように、様々な事業を予定しています。詳しい内容については、その都度広報いなぎ等でお知らせします。

すでに終了している事業もありますが、これから実施する事業が沢山ありますので、ぜひご参加ください。お待ちしております。

●はすでに終了している事業です。

サポートセンターを
お気軽にご利用ください。

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I. 市民活動相互交流のための事業												
市民活動フォーラム2011								○				
市民活動交流の日				(臨時実施)								
金曜ゼロンスペシャル			●	(未定)								
II. 市民活動のための情報収集と提供												
ニュースレターの発行				○		○			○			○
ホームページの運営				(常時運営)								
III. 市民活動を支援するための事業												
NPO講座の開催			● 入門			○ 実践	○ CB講座/8月半					○ 応用
市民活動団体への講師の派遣				(臨時実施)								
市民活動の相談と人材派遣				(常時)								
市民活動支援基金による資金助成			● (決定)									
IV. 他団体と協働して行う事業												
手づくり市民まつりへの参加		●										
Iのまちいなぎ市民祭への参加							○					
ハッピーリタイアメント講座							○ 市民祭へ参加			○		
市民活動団体との共同企画事業				(臨時)								
V. 施設等の利用提供事業												
ミーティングコーナー				(常時)								
印刷機、紙折機、パソコンなど				(常時)								
VI. 調査研究等												
指定管理者受託準備				(通年)								

※表中「CB講座」は「コミュニティ・ビジネス講座」の略です。

「あなたの会議が変わる！」

～やる気と本音を引き出す会議術～

「ファシリテーター養成講座」の第1回目の報告から大分時間が経てしまいましたが、その続きです。

ちょっと振り返ってみると、今回は、ファシリテーターとは「会議などで、参加者の間で深い議論がなされるよう交通整理したり、相互理解ができるように働きかけ、合意形成に向けて調整をする人」であるという話をしました。

●アイスブレイキング

また今回は、アイスブレイキングの手法として「席は自由です」の張り紙をテーマにそのメリット、デメリットについて隣席の人と話し合いをし、発表させられたというところまで話をしました。

ほんの数分の話し合いでしたが、たちまちたくさんのメリット、デメリットが挙げられました。しかし、この場合、それを列挙することが重要ではなかったのです。

隣の人と打ち解け、自分の考えを声に出し、自分と違う考えを受け入れながら一緒に結論を導き出す・・・といったことに意味があったのです。特に初対面の人が多い会議では、会議の初めにこうした単純なアイスブレイキングゲームを行う

だけで、その場が和気あいあいとした雰囲気となり、会議をスムーズに進めることができるようになるのです。

●こんな会議はいやだ

次に私たちに与えられた課題は「こんな会議はいやだ」について、今度は隣の人だけでなく、もう少し範囲を広げて数人で話し合い、それを発表することでした。

びっくりするくらい沢山の意見がでましたが、その一部を紹介してみます。

準備ができていない／人数が多すぎる／参加動機が低い／目的が不明確／一部の人の意見で進む／他人の意見を聞かない／感情的でケンカごし／対立が激しくお互いに譲らない／結論ありき／プロセスが不明確／進行役が機能していない／脱線して本論に戻らない

これを見ても、私たちはふだんからいかに非効率・非生産的な会議を行っているかが、よく分かります。

●ファシリテーターの具体的な仕事とは

端的に言えば、こうした「いやな会議」をなくしてやることであるということが出来ます。

ファシリテーターは会議の結



果については責任を持つ必要がないが、そのプロセスには責任があると言われます。すなわち、会議のプロセスを管理することが課せられた役割なのです。

では、具体的にどんなことをすればいいのでしょうか。

【全体的なことは】

- ①会議の目的を共有する・・・どんな目的で実施するのか。表立った目的だけでなく、その裏にある目的についても確認しておく。例えば、その裏には「協働のまちづくり」があるといったふうに。
- ②会議の目標を設定する・・・目標を達成するために、この会議ではどこまで話し合うのか、その場合全体的な目標だけでなく、1回ごとの目標設定も大事である。
- ③プロセスの確認・・・どんな手順で話し合うのかを合意形成しておく。この場合も全体的なものだけでなく、1回ごとのプロセ（3ページに続く）

三月

「絵描きが見た外国の暮らしと国際交流」

話し手：名嘉真 麻希さん

名嘉真さんは、遺跡が好き、スペイン・モンゴル・メキシコが好きとおっしゃる、うわへの華やかさに感わされず、心に響く何かを求めている、魅力的な方でした。

自分のことは自分で考え実行する。心から感動できる対象を見つけ出し、自分の絵の世界で再生することを喜びとしています。描かれる絵のように、カラフルでもっと進化しそうな予感に溢れた名嘉真さんのお話の中から、ちょっとだけ面白い逸話をご紹介します。

中国の学生は小学生から高校・社会人に至るまで、大変真面目で勉強することが大好き。学校では美術を教えていたが、中国人の絵は見た目どっくり、他人の絵の模写が多い。

ブラジル・サンパウロの日系人街には鳥居がある。モンゴル民族にとっては青が最も高貴な色、中国人は赤が好き。メキシコは食べ物が美味しく、カカオ豆や唐辛子の原産国・・・等々、様々な国や場所で描き貯めた作品を披露しながら思い出や感想を語ってくれました。（佐藤）

六月

「クラリネットの魅力」

話し手：堀川 豊彦さん

人に誘われて大して期待せずに行ったのですが、いや、面白かったです。まずはクラリネットの音を聞いていただくというわけで、懐かしい曲を何曲か演奏。4本のクラリネットの音の重厚さに圧倒されました。

クラリネットと一口に言えけれど、エジプト時代から進化を遂げて、今やびっくりするほど種類があります。中にはお化けのように大きいものもあって、口が届かないと困るので、先がぐにゃつと曲がっていました。なのにえらく微妙な楽器のようで、特に振動する部分、リードは重で出来ていて選別調整が大変なようでした。

クラリネットは大きさによってそれぞれの音域があり、また、音色も微妙に違っているのを聞かせてくれました。音痴の私にもそれは聞き分けられました。演出もなかなかのものでした。

堀川先生は百村にお住まい、同行した若き女性演奏者3人に囲まれ羨ましいお仕事。最後はモーツァルトの曲を演奏、30余名の聴衆を魅了して盛会裏に終わりました。（豊真視）

スの確認も大事である。また、それに沿った時間管理も必要。

④だれもが、リラックスして意見を出しやすい雰囲気づくりを行う。そのためのアイスブレイキングも必要。

【会議中に心掛けることは】

①メンバーの意見や知識、経験を十分引き出すように努める。特に特定の人に発言が集中しないように配慮する。普段は発言をしない人から貴重な意見が出ることもある。そんな時には「具

体的には・・・」といったように気づきを促してやる。

②最初に網羅的に意見を聞き出し、それをホワイトボード等に書き出し、全体像を示しながら合意形成を図るのも有効な方法である。その場合、ほんとうにそれだけで済むか？他にはないですか？と網羅性を意識させながら「聞き出し」と「まとめ」を繰り返し、共通認識を形成できるように進める。

③発言が主題から脱線したら、さりげなくその意見を中断さ

せ、論議を元に戻してやる。逆に普段は発言をしない人に発言を促してやる。

④出された意見はすべて大事であっても、実際には様々な制約から実現困難なものもある。したがって、その中から一番効果が現れると思われるものは何かを選択させる。

★ ★

「みんながこうした心得をもって会議に臨べばファシリテーターはいらないんです」という桜井先生の言葉が心に残った有意義な講座でした。（小林）

市民活動支援基金による 今年度の助成団体は・・・

6月2日に審査会が開かれ、今年度は次の4団体に助成することが決まりました。

■声のサークルこだま

(代表 柳澤和美さん)

- ①ステップアップ助成 ②50,000円
 ③NPO《子どもの森》芸術文化振興基金
 ④視覚障害者のための活字情報の音訳（社協だより、ふれあい通信、個人から依頼された本、電気機器の取扱い説明書など）

■稲城知的障がい者支援ネットワーク

(代表 川本安岐夫さん)

- ①ステップアップ助成 ②25,000円
 ③サポートセンター市民活動支援基金
 ④市内知的障がい者に対する様々な支援、特に就労や雇用につながる支援と安心して生活していける環境づくりを目指す活動

- ①＝助成の種別 ②＝助成額
 ③＝基金の資金提供先 ④＝活動内容など

編集後記

ニューズレターは2005年4月にNo.1を発行して以来、No.36号(今年2月号)まで隔月に発行してきました。

ところがこのところ、編集体制などの問題から、しばらく発行できない状態です。

編集体制は依然厳しい状況にありますが、今後は3か月1回というペースで、何とか頑張って発行を続けていきたいと考えております。

今後ともよろしくお願いたします。

国際ソロプチミスト稲城から 5万円が寄贈されました

さる6月18日に国際ソロプチミスト稲城の役員交代式が行われ、その席で基金の財源として使って欲しいと5万円が寄贈されました。

今年度は間に合いませんでしたが、来年度から同会の冠を付けた助成金として、市民活動を支援していきたいと思えます。有り難うございました。

■いなぎ社会福祉士会

(代表 大熊敏子さん)

- ①ステップアップ助成 ②40,000円
 ③サポートセンター市民活動支援基金
 ④稲城市在住、在勤の社会福祉士のネットワークづくりと社会福祉士の活動の普及啓発

■チーム龍舞隊 稲城

(代表 田中登美枝さん)

- ①ステップアップ助成 ②40,000円
 ③NPO《子どもの森》芸術文化振興基金
 ④姉妹都市である女満別龍舞隊と組んで札幌YOSAKOIソーラン祭に出演するほか、市内老人ホームなどへの慰問活動

NPO《子どもの森》芸術文化振興基金とは

地域の活性化と教育力の充実をめざし、子どもたちの芸術文化活動および健やかな育ちの環境づくりに寄与する芸術文化の振興を目的に設けられた基金です。(代表：荒木重雄さん、専務理事：角田亨さん)

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円